

農地整備事業の権利者会議を開催しました

権利者会議とは…

農地整備事業で農地の区画形状を変更したことに伴い、従前の土地所有者が工事後のどの土地に登記されるかを定めた「換地計画」を決定するための会議です。

権利者会議は関係権利者の3分の2以上の出席で会議が成立し、出席者の3分の2以上の賛成により可決されます。

今回の権利者会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、権利者の皆様には事前に書面議決書の提出を依頼しており、当日の入場者を最小限に限定して開催しました。

せんがりえ

千刈江地区（大崎市古川）

令和5年3月15日（水曜日）に大崎土地改良区にて、農地整備事業「千刈江地区」の権利者会議を開催しました。

千刈江地区は、大崎市の西部に位置し、市を南北に縦断する東北縦貫道（古川IC）の東側に展開する南北に細長く拓けた水田地帯です。

受益面積は150.0haで平成22年度に着手し、総事業費約19億円をかけ、令和4年度に工事完了予定です。

千刈江地区では、田んぼダムの効果検証へもご協力いただきながら農地整備事業を進めて参りました。

権利者会議は、当事務所の佐々木所長の挨拶に始まり、次いで大崎土地改良区菅原理事長から挨拶をいただきました。

その後、議長に選出された塚目集落 千葉様の議事進行のもと、全会一致で換地計画は可決されました。



▲ 権利者会議の様子 ▲

ひがしかのはら

東鹿原地区（加美町鹿原）

令和5年3月22日（水曜日）に東鹿原集会所にて、農地整備事業「東鹿原地区」の権利者会議を開催しました。

東鹿原地区は、大崎平野西部の船形山麓に位置する水田地帯で、一級河川鳴瀬川支流大滝川左岸沿いの河岸段丘部に展開する農業地帯です。

受益面積は43.2haで平成27年度に着手し、総事業費約11億円をかけ、令和5年度に工事完了予定です。

権利者会議は、当事務所の佐々木所長の挨拶に始まり、次いで加美郡西部土地改良区鎌田理事長から挨拶をいただきました。

その後、議長に選出された東鹿原集落 早坂様の議事進行のもと、全会一致で換地計画は可決されました。



▲ 権利者会議の様子 ▲



千刈江地区

東鹿原地区

▼ 千刈江地区 ▼



▼ 東鹿原地区 ▼



北部管内農業用排水施設

安全対策委員会幹事会を開催しました

令和5年3月1日に北部管内農業用排水施設安全対策委員会幹事会を開催しました。

本委員会は、農業用排水施設における水難事故を未然に防止するため、関係機関と連携し、その対策の検討や事故防止の周知徹底を図ることを目的として、平成30年に設置されたものです。

今回の幹事会では、かんがい期前である今の時期からの水難事故防止の注意喚起や、安全管理の徹底を各市町・土地改良区の皆様にお願しました。

加えて、安全対策実施のための事業についての情報共有も行い、「どの事業を使えばどのようなことができるのか」等の確認をしました。

また、来年度の本委員会の事業計画の策定を行いました。来年度は、水難事故防止のための地域住民の皆様向けの出前講座を計画しております。各学校の皆様も対象としておりますので、是非、御活用ください。



▲安全対策委員会幹事会の様子

ため池事故防止・注意喚起のための

リーフレットを作成しました

宮城県では、身近なため池に潜む危険性と皆さんに守ってほしい「ため池ルール」を記載したリーフレットを作成しました。

また、ため池の役割とため池ルールをまとめた動画も広報課YouTubeチャンネルにて掲載しておりますのであわせてご活用ください。

リーフレット及び動画は、下記のURL、QRコードからご覧いただけます。

●注意喚起リーフレット（宮城県農政部農村整備課）

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonsei/suinanjiko.html>



●ため池事故防止・注意喚起動画（宮城県インターネット広報資料室）

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin/tameike-rule.html>



身近なため池
キケンです！

こんな **キケン** が・・・

1. おもったよりも深い！
2. 急ですべる！
3. 落ちたらのぼれない！

【ため池事故防止】
まもろう！ため池ルール 動画公開中
(YouTubeに投稿されます)

宮城県農政部・農村整備課・農村整備課・農村防災対策室

▲リーフレット(表) ▲リーフレット(裏)

ため池ルール

1. きけんなため池に近づかない
2. フェンスの中に入らない
3. 遊んだり釣りをしない

ため池は、農業のための水を貯める大切な場所です。決して遊ぶための場所ではありませんので、釣りや水遊び等で近づかないようにしてください。

ため池の事故は、子供・大人問わず発生する可能性があります。皆さんでため池ルールを守り、水難事故をゼロにしましょう！

※宮城県内では、令和3年には3名の方が農業用排水路等で事故に遭っています。

農地整備事業「蕪栗沼地区」で現場見学会を開催しました

令和5年1月24日、大崎市田尻の農地整備事業「蕪栗沼地区」で部内職員を対象に杭工法の現場見学会を開催しました。

今回の工事内容は、柵の沈下を防止するために柵の下部に支持杭を施工するものです。

当日は、部内の若手職員中心に9名が参加し、施工過程を見学しました。

施工過程～支持杭工～

- ①定尺棒を用いて、掘削攪拌装置の鉛直度を掘削位置の中心に合わせて掘削します。
- ②掘削中は装置の先端から掘削液（水等）を適宜吐出し、掘削した孔内を泥化させ、孔内の倒壊防止を図ります。
- ③掘削した孔内に、地盤を強固にするための根固め液、ソイルセメント液を注入します。その後、基礎となる杭を沈設し、杭の設置完了となります。

当部では、今後も若手職員の育成のため現場での研修等を実施していく予定です。

くらつぽ

鞍坪排水機場で施設見学会を開催しました

令和5年1月25日、北部地方振興事務所（農業農村整備部、総務部、農業振興部（美里農業改良普及センター））の若手職員を対象に「鞍坪排水機場施設見学会」を開催しました。

この見学会は、農業関係職員を対象に、各所属の分野に関する知識を深め、資質向上することを目指し開催したものです。

鞍坪排水機場（東松島市西福田長峯）は令和5年度から水利施設整備事業での改修を計画しており、施設管理者の方に現在の機場の維持管理についてお話を伺いました。

鞍坪排水機場は大雨の際などに農地や施設を洪水から守るため、昭和26年に県営排水改良事業で造成されました。

排水設備に使用されているエンジンは造成当時のもので、国内では現存しかつ稼働するものはここだけとのことでした。



▲見学会の様子



▲杭の沈設



蕪栗沼地区

鞍坪地区



▲鞍坪排水機場



▲エンジン



▲見学会の様子

しかし、造成から70年あまりが経過し、施設の老朽化に伴い維持管理の経費が嵩んでいるほか、エンジンに使用されている交換部品が既に生産終了となっているなど、継続的な運転に不安を抱えている現状です。

現場では、施設管理者の美里東部土地改良区の職員の方と実際に機場の運転を担っている機関長から、機場の歴史、維持管理の現状等について説明して頂きました。

参加した職員の中には農業に関する業務を担当していても、現場を見て学ぶ機会がほとんどない職員もいるため、熱心に聞き入っていました。

今後は、このような貴重な経験を還元できるよう日々、邁進して参ります。

「鬼首神楽」の動画を公開しています

前号でも取り上げましたが、宮城県では持続可能な農山村地域の体制づくりを支援しており、大崎管内では、大崎市鳴子温泉鬼首地区の伝統芸能「鬼首神楽」の継承に向けた体制づくりに取り組んでいます。

この鬼首神楽について、昨年9月に鬼首地区の荒雄川神社で執り行われた奉納神楽の様子動画を宮城県公式Youtubeチャンネルに投稿しましたので是非、ご覧ください。



●【鬼首神楽】荒雄川神社例大祭2022（宮城県インターネット広報資料室）

<https://www.youtube.com/watch?v=79mzddSTOio>

大堰頭首工・内川の歴史をホームページで紹介しています

当部ホームページにおいて世界農業遺産「大崎耕土」関連情報を掲載しています。ページには世界農業遺産「大崎耕土」の概要や巧みな水管理施設の歴史や周辺地域の情報を中心に掲載しています。

今年度の更新では大崎市岩出山にある取水堰「大堰頭首工」と用水路「内川」について概要や整備にまつわる歴史を「水物語」としてまとめた紹介ページを新たに公開しました。是非、御覧ください。



▲大堰頭首工



▲内川

●世界農業遺産「大崎耕土」～内川水物語～（北部地方振興事務所農業農村整備部）

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-sgsin-ns/uchikawamizumonogatari.html>

第14回梶木賞 最優秀賞を受賞しました

全国農村振興技術連盟が主催する「第14回 梶木賞」において、当部計画調整班の竹谷技師の論文が最優秀賞を受賞しました。

梶木賞は、技術者の育成に情熱を注いでいた故 梶木又三氏（元環境庁長官・元全国土地改良事業団体連合会長）の意志を踏まえ、全国農村振興技術連盟が梶木家からの寄付金を活用し、若手技術者の資質向上を目的に、若手技術者から農村振興に関する論文を募集し、内容の優れた論文について表彰するものです。今年度は、全国から応募があった27編の論文の中から、最優秀賞1編、優秀賞2編の論文が選ばれました。

竹谷技師の論文では、「大崎耕土の水管理システム」の世界農業遺産認定を契機とした地域振興のために伝統文化の保存活動に関わった経験を通じて、農村振興のためには「地域全体の主体性の醸成」が課題であり、その解決には、事柄を「じぶんごと」として意識し、自ら考える場を設定し、モチベーション向上のために成果を可視化することが重要といった具体的な対策も述べており、その着想と展開が高く評価され最優秀賞受賞に至りました。

受賞者からひとこと

最優秀賞をいただき、大変嬉しく思います。

今後も広い視野と柔軟な考え方を意識しながら、農村の課題解決や振興に貢献できるよう頑張ります。



宮城県北部地方振興事務所農業農村整備部

〒989-6117 宮城県大崎市古川旭四丁目1番1号（宮城県大崎合同庁舎4階）

TEL 0229(91)0701(代表)

FAX 0229(23)5014

ホームページ <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-sgsin-ns/index.html>

大崎地域観光PR Facebook「アイラブオオサキ」<https://www.facebook.com/loveosaki>

編集：北部PRWG



北部NNPH



アイラブオオサキ